

学校関係者評価報告書

愛媛県立宇和高等学校三瓶分校

学校番号 (38)

評価実施日		令和7年2月13日(木)	
委員	氏名	所属等	備考
	竹崎幸仁	学校関係者評価委員	
	奥野柳之介	学校関係者評価委員	
	藤井兼人	学校関係者評価委員	
	奥田明弘	学校関係者評価委員	
	樋口美和	学校関係者評価委員	
	神岡昌仁	学校関係者評価委員	
	黒田マヤ	学校関係者評価委員	
	宇都宮積矢	学校関係者評価委員	
	曾我功	学校関係者評価委員	
評価・提言等		提言等に対する改善方策等	
1 学校運営等 <ul style="list-style-type: none"> 生徒、保護者全員が入学して良かったと回答していることから、生徒・教職員・保護者・地域が一体となった学校づくりができたということだと思ふ。 少人数の中、生徒、教職員ともに負担が大きい中、地域貢献に尽力していただき感謝している。 学校の様子が、SNSや報道を通してよくわかった。生徒の表情はいつも明るかった。 ○閉校後も学校環境が維持管理できればよいと思ふ。 ○アンケートでは、毎日教員から声をかけられない生徒が1名いることが気にかかる。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒全員が笑顔で満足できる学校生活を送れるよう、保護者や地域の方々の協力をいただきながら、充実した教育活動の提供を目指して取り組むことができた。 担当者の努力や教職員の協力により、生徒や学校の様子を原則として毎日発信することができた。 ○1名の生徒に寂しい思いをさせてしまったことを、申し訳なく思っている。 	
2 学習指導 <ul style="list-style-type: none"> 生徒自ら学ぶ姿勢については中学校においても課題である。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味・関心を持つ授業、及び生徒が活躍できる場面を多く設定した授業の研究に力を入れて取り組んでいく。 	
3 生徒指導・安全指導・特別活動 <ul style="list-style-type: none"> 最後の1年を有意義にするために、生徒が主体的に行事を運営し、思い出に残る充実した活動になったことが素晴らしい。 全体的に十分な成果がでてきている。 負担の大きい中で、生徒自らが積極的に取り組み、有意義な活動になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や生徒会活動等の内容を見直し、活動を厳選して生徒の主体的な活動を促がす環境、プログラムにすることができた。 生徒の積極的な姿勢に助けられ、充実した活動になったことは良かった。 一人一人ひとりの負担を考慮し、係分担の計画をもう少し綿密に立てる必要があった。 	

4 進路指導

- ・個に応じた進路指導ができ、全員が希望する進路に進むことができている。
- ・進学・就職率 100%を達成したことは素晴らしい。卒業後も恩師として、社会の先輩として卒業生の良き相談相手として支援をしていってほしい。

5 人権教育

- ・人権学習や情報モラル教育への積極的な取組の成果が出ている。
- ・今後も若者のSNS利用については課題である。

6 現職教育

- ・忙しい中ではあるが、意欲的に研修に取り組んでいると感じる。
- ・様々な研修に教職員が学ぶ姿勢で臨んでいることは、生徒指導に役立つことだと思う。

7 保健・安全管理

- ・啓発活動を充実させ、健康意識を向上させている。

8 事務

- ・生徒が安全に学習できるように環境が整備されている。

9 その他

- ・最後の1年を、生徒・教職員・保護者・地域が一体となって活動し、思い出に残る充実した1年間であったと感じている。
- ・教職員及び事務員の方々の絶え間ない努力に感謝する。
- ・三瓶分校の卒業生は、生涯の友人となることだろう。
- ・14名の生徒たちの今年度の大活躍に感謝している。様々な活動を通して有終の美を飾り、伝統ある三瓶高校、分校の結びの年を大変素晴らしいものにしてくれた。ありがとう。

- ・早くから自己理解を深め、興味・関心に基づいた受験校・企業選択ができた。オープンキャンパスや応募前職場見学にも意欲的に参加し、早期の進路実現を果たすことができた。
- ・早期離職者は3割（全国値）と言われている中、卒業後も相談に応じることができるよう、担任を中心としたネットワークを維持していきたい。

- ・SNS 利用については、生徒の日々の行動と合わせて指導をしていきたい。

- ・ICT 活用や教科横断的授業など、さまざまな新しい教育法が取り入れられ、また新たな課題に対応する力も教師には求められている。充実した学校教育を行っていくためにも、一人一人が意欲的に学んでいかねばならないと感じている。

- ・季節や学校行事に即した内容で啓発活動が実施できた。感染症のため学校閉鎖があったことは残念であった。
- ・保健・安全の基礎・基本に立ち返り、日常の活動の徹底が図れるよう啓発を継続していく。

- ・環境整備については日々の積み重ねの結果であり、高い評価をいただきありがたいと思う。

- ・学校評価アンケートでは、「三瓶分校に入学して良かった」生徒 100%、「三瓶高校に入学させて良かった」保護者 100%の結果であった。生徒と保護者と共に充実した教育を行うことができた。
- ・生徒 14名という少人数の集団であったが、その分、一人ひとりが学校生活の中で役割をもち、積極的に学校生活を送ることができた。また、地域と協力して活動をすることも多く、地域愛を育むこともできたのではないかと思う。地域の皆様、同窓生の皆様に支えられた結びの年であった。大変感謝している。